

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-236	高等学校	国語科	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	現国 183-902	高等学校 改訂版 精選現代の国語		

1. 編修の基本方針

1. 近現代のすぐれた文章に触れることにより、言語感覚を磨き、知識と教養を身に付け、豊かな感性や情緒を育むことができるようにした。
2. 生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより、思考力・判断力・表現力を養い、自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。
3. 対話的・協働的な学習活動を積み重ねることにより、さまざまな社会的要請に応え得る人間性の育成に役立てられるようにした。
4. 現代社会における問題を具体的に扱った教材を意識的に採録して、人間・環境・社会などさまざまな課題に向き合う態度を養うことができるように配慮した。
5. 我が国の言語文化の伝統を深く理解したうえで、言葉によつて的確に理解し、適切に交流する能力をはぐくみ、真に国際的な人間形成を促すことを期した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
理解編	- 文章の構成や論理展開を捉えて論理的に考える力を育み、社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けることを目指した（第1号）。 - 真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことにより、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。 「読みを広げる」を設定して、読書の幅を広げることができるようにした（第1号）。 「コラム」を設定して、目的に合わせて機器を用いたり、情報を収集して適切に扱ったりといった、現代の情報化社会において重要とされる能力を高めることができるようにした（第1号）。 「評論キーパーソン一覧」として、現代の思想に影響を与えた主たる思想家・哲学者を示し、幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮した（第1号）。	p. 32～p. 48 p. 64～p. 71 p. 98～p. 112 p. 14～p. 21 p. 114～p. 119 p. 30 p. 72 p. 96 p. 130 p. 158 p. 188 p. 218 p. 58～p. 63 p. 92～p. 95 p. 120～p. 121 巻末口絵 後見返
	- 個性を肯定するとともに、多様な価値観について述べた題材を採録し、異なる立場からの意見を尊重する態度を身に付けられるように配慮した（第2号）。 - 働くことや社会生活を送ることについて考察した題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深められるようにした（第2号）。 「言語活動」を通して、主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。 - 生徒どうしの会話を含む教材を用意し、生徒自らが主体性を発揮して学習に取り組むことを期した（第2号）。	p. 22～p. 29 p. 141～p. 147 p. 21 p. 56～p. 57 p. 90～p. 91 p. 187 p. 206 p. 220～p. 223

	・現代社会の秩序や理念について述べた題材に加えて、情報化の進展、科学技術の発展、消費行動のあり方など、現代の諸問題を取り上げた題材を採録し、生徒が社会の形成と発展について考察を深められるよう配慮した（第3号）。 ・学校生活など、生徒にとっての実社会と深く関わる題材を積極的に採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。	p. 45～p. 48 p. 74～p. 81 p. 82～p. 91 p. 110～p. 112 p. 122～p. 129 p. 132～p. 140 p. 148～p. 157 p. 169～p. 178 p. 179～p. 186 p. 190～p. 196 p. 197～p. 217 p. 224～p. 228 p. 220～p. 223
	・生命、自然、環境といった、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、生命を尊ぶ態度を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第4号）。	p. 141～p. 147 p. 160～p. 168 p. 179～p. 186
	・比較文化論・芸術論・言語論を積極的に採録するなどして、我が国の言語文化に対する関心を喚起するとともに、他国の文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。 ・「読みを広げる」を設定して、言語文化に対する興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。	p. 33～p. 37 p. 39～p. 43 p. 50～p. 57 p. 64～p. 71 p. 99～p. 102 p. 104～p. 108 p. 30 p. 72 p. 96 p. 130 p. 158 p. 188 p. 218
表現編	・コミュニケーションを円滑にする技術や教養を身に付け、自分の考えや事柄を国語で適切に伝える能力を伸ばせるようにした（第1号）。 ・目的に合わせて機器を用いたり、情報を収集して適切に扱ったりといった、現代の情報化社会において重要とされる能力を高めることを目指した（第1号）。	p. 230～p. 276 p. 242～p. 247 p. 260～p. 263 p. 268～p. 271
	・自ら課題を設定して取り組む態度を養うことができるように配慮した。課題の内容についても、生徒の自由な創造性を伸ばすことを目的にしたものを多く取り入れた（第2号）。	p. 230～p. 276
	・学校生活や地域生活など、生徒にとっての実社会と深く関わる題材を積極的に採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。	p. 238～p. 253 p. 260～p. 276
	・自然・環境など、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第4号）。	p. 268～p. 271
資料編	・表記や表現、文字や語彙、コミュニケーションに関する実用的な資料を採録し、実生活に必要な知識と教養を身に付けることができるようにした（第1号）。	p. 278～p. 304

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・第二条第3号及び、学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を踏まえ、理解編の各教材の最後に「学習の手引き」「言語活動の手引き」「言葉の手引き」として課題を用意し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を設定した。教材の内容や構成などについて理解を深め、自らの考えを的確に表現する資質・能力を養うとともに、生徒相互の意見交流を通じて、多角的で客観性のある批判的思考能力を養えるよう配慮した。
- ・書体にユニバーサルデザインフォントを取り入れたほか、カラーユニバーサルデザインにも配慮し、すべての生徒にとって学びやすい紙面となるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-236	高等学校	国語科	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	現国 183-902	高等学校 改訂版 精選現代の国語		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

①単元構成・教材選定

- ・国語の資質・能力を育成し、実社会に必要な国語の知識や技能を効果的に身につけるため、全体を「理解編」と「表現編」で構成し、思考力・判断力を育成するための学びと、表現力を育成するための学びとが、それぞれ系統的に行えるように教材を配置した。
- ・「理解編」は、評論、および、実用的な文章を取り上げた。評論はテーマを基本とした単元構成にして、教材どうしが有機的な繋がりをもって学習できることを意図した。
- ・「表現編」は、「A 話すこと・聞くこと」と「B 書くこと」に関わる教材を取り上げ、「現代の国語」の目標に掲げられている、「他者との関わりの中で伝え合う力を高め」るための学びを実現することを意図した。
- ・「C 読むこと」の教材選定にあたっては、生徒の発達段階や中学校の国語科との接続にも配慮しつつ、高校生が身につけておくべき幅広い知識を提供し得る作品をさまざまな分野から厳選し、人間や社会に対する視野や考えが次第に広がり深まるように教材を配列した。
- ・単元の扉に、単元の各教材で学習する内容を「学習のねらい」として示し、教材の意図を学習者全体で共有しながら学びに取り組むことができるようにした。
→「生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る」ための配慮。

②[知識及び技能]への対応

- ・「注意すべき語句」を抽出したり、「言葉の手引き」を設定したりして、「C 読むこと」の内容と関連づけながら漢字・語句・表現・修辞等の知識を深めるとともに、文脈の中で語感を磨き、語彙を豊かにできるようにした。
- ・情報と情報との関係については、「C 読むこと」の内容と関連づけながら「学習の手引き」で理解を深めるとともに、「論理の展開を捉える」「根拠を示して主張する」という単元を設け、情報どうしの関係性に注目して論理構造を捉えるための方法を示した。
- ・巻末に「資料編」、巻頭と巻末に「口絵」を用意し、豊富な資料や写真・図版を掲載して、知識をより深めるための一助とした。
- ・作品ごとに作者解説を付し、出典の情報を示して読書につながる興味づけを図るとともに、単元末に「読みを広げる」を設けて、単元で学んだテーマについて深く知り、読書の幅を広げることができるように意図した。

③[思考力、判断力、表現力等]への対応

- ・「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」に関しては、言語活動を主体として教材を設定し、具体的な活動を通して表現力や想像力を高め、自分の考えを広げて伝え合う能力を育成することを目ざした。教材として取り上げる項目は、「言語活動例」に示された内容に即して選定した。
- ・「C 読むこと」に関しては、脚注の「問」、および「学習の手引き」「言語活動の手引き」の三つの課題設定によって、作品の内容理解を深め、興味を広げることができるようにした。
 - *「問」は、本文を解釈するうえでポイントとなる箇所に、内容理解を確認する目的で示した。
 - *「学習の手引き」は、文章全体の構成の把握、構成を支えている論理（各段落のはたらき、段落相互の関係、論展開など）の把握、「学習のねらい」に沿った内容の解釈および評価という、基本的に三つの事柄を行うことを主旨として設定した。
 - *「言語活動の手引き」は、本文を学習して得た知識や、本文に関連する事柄などをもとに、文章を書いて発表したり、調査・報告を行ったりするなど、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」の両方に関わる言語活動を行うことを主旨として設定した。取り組み方や手順について導入が必要となるものについては、別ページに独立させて、段階的に活動を設定した。
 - *一部の言語活動について、活動に取り組むうえで必要となる文章を「参考」として示した。
- ・実用的な文章は、実用と活用に重点を置いて、言語活動を主体とした課題設定を行った。

2. 対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容										該当箇所	配当時数			
編	単元	教材	知識及び技能			思考力・表現力・判断力等						聞話 くす こと・ こと・		書 く こと	読 む こと	計	
			(1)	(2)	(3)	聞話 くす こと (1)・	聞話 くす こと (2)・	書 く こと (1)	書 く こと (2)	読 む こと (1)	読 む こと (2)						
理解編	自己と他者 ―考えを組み立てる	「何も知らない(私)」を知ること	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ							ア・イ	ア	p.14～p.20			1	1
		〔言語活動〕筆者の主張をふまえて、自分の考えを発表しよう	イ	エ		ア・イ・ウ	ア						p.21	3			3
		「本当の自分」幻想	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア	ア・イ	ア		p.22～p.29		1	1	2
		〔読みを広げる〕※以下6箇所			ア								p.30				
	論理の展開を捉える	【対比】「間」の感覚	オ	ア・イ・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.32～p.37		0.5	0.5	1
		【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える	ア・オ	ア・イ・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.38～p.43		0.5	0.5	1
		【事実と意見】「私作り」とプライバシー	オ	ア・イ・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.44～p.48		0.5	0.5	1
	言葉と文化 ―情報を集める	水の東西	ウ・エ・オ・カ	ア・イ・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.50～p.55		1	1	2
		〔言語活動〕水に関わる芸術や文化を調べ、その魅力を紹介しよう	イ	エ					ア・イ・ウ	ア・ウ			p.56～p.57		1		1
		〔コラム〕適切な情報を集めるには		エ									p.58～p.61				
		〔コラム〕情報を正しく引用するには		オ									p.62～p.63				
		ものとことば	ア・ウ・エ・オ	ア・イ・ウ	ア				イ・ウ	ア・ウ	ア・イ	ア・イ	p.64～p.71		1	1	2
	科学技術とメディア ―情報を活用する	人工知能に未来を託せますか？	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ					ア・イ・ウ	ア・ウ	ア・イ	ア	p.74～p.81		1	1	2
		現代の「世論操作」	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ							ア・イ	ア	p.82～p.89			1	1
		〔言語活動〕メディアへの向き合い方について、考えを文章にまとめよう		ウ・エ					イ・ウ	ア			p.90～p.91		1		1
		〔コラム〕グラフ・図を正しく読み取るには		ウ									p.92～p.95				
	根拠を示して主張する	【主張と根拠】デザインの本意	オ	ア・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.98～p.102		0.5	0.5	1
		【主張と反論】「動機の語彙論」という視点	オ	ア・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.103～p.108		0.5	0.5	1
		【推論】コンピュータが作る俳句	オ	ア・イ・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.109～p.112		0.5	0.5	1
	身体と時間 ―主張を把握する	〈鏡〉という現象―装いとは何か	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ					ウ	ウ	ア・イ	ア	p.114～p.119		1	1	2
		〔コラム〕文章を要約するには	オ	ア									p.120～p.121				
		不均等な時間	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.122～p.129		1	1	2
	経済社会と人間 ―主張を吟味する	岩井克人が語る「無」から「有」を生む貨幣	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ					ア・イ・ウ	ア・ウ	ア・イ	ア・イ	p.132～p.140		1	1	2
		ロビンソンの人間と自然	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ	ア				イ・ウ	ア・ウ	ア・イ	ア・イ	p.141～p.147		1	1	2
		フェアな競争	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ					ア・イ・ウ	ア・ウ	ア・イ	ア・イ	p.148～p.157		1	1	2
	環境と倫理 ―主張を比較する	「環境」には「私」がいない	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ							ア・イ	ア	p.160～p.168			1	1
		「文化」としての科学	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ					イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.169～p.178		1	1	2
		生と死が創るもの	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ	ア				ア・イ・ウ	ア・ウ	ア・イ	ア・イ	p.179～p.186		1	1	2
〔言語活動〕文章を読み比べ、自分の考えを意見文にまとめよう		イ・オ	イ・エ	ア				イ・ウ	ア			p.187		1		1	
現代社会の課題 ―合意を形成する	〈私〉時代のデモクラシー	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ					ア・イ・ウ	ア・ウ	ア・イ	ア	p.190～p.196		1	1	2	
	リスクを考える―「みんなで決める」はなぜ重要か	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ							ア・イ	ア	p.197～p.205			1	1	
	〔言語活動〕グループで話し合った内容をレポートにまとめよう	イ・オ	イ・エ	ア				ア・イ・ウ	ア			p.206～p.217		1		1	
	〔参考〕公園																
生活の中の表現 ―実用文を読む	学校新聞の記事内容を検討する	オ	エ・オ					イ・ウ・エ	ア・イ	ア・イ	ア・イ	p.220～p.223		0.5	0.5	1	
	法律の改正に関わる文章を読み比べる		ウ・エ					ア・イ・ウ	ア	ア・イ	ア・イ	p.224～p.228		0.5	0.5	1	
表現編		話し方の基礎レッスン	イ・カ				ア・イ・ウ						p.230～p.233	3			3
		スピーチで自分を伝える	イ	エ			ア・イ・ウ・エ	ア					p.234～p.237	3			3
		相手に伝わる案内をする	イ	エ			ア・イ・ウ・エ	イ					p.238～p.241	3			3
		理想の修学旅行をプレゼンする	イ	エ			ア・イ・ウ・エ	エ					p.242～p.247	4			4
		意見をまとめる話し合いをする	イ	エ			ア・イ・ウ・エ・オ	ウ					p.248～p.253	4			4
		書き方の基礎レッスン	イ・オ・カ						イ・ウ				p.254～p.259		2		2
		生活実態を報告するレポートを書く	イ・オ	エ					ア・イ・ウ・エ	ウ			p.260～p.263		2		2
		身近な製品の取扱説明書を作成する	イ・オ	エ					イ・ウ・エ	イ			p.264～p.267		2		2
		地域の魅力を伝える紹介文を書く	イ・オ	エ					ア・イ・ウ・エ	イ			p.268～p.271		2		2
		社会に対する意見文を書く	イ・オ	エ					ア・イ・ウ・エ	ウ			p.272～p.276		2		2
計														20	30	20	70